

東矢通信

TABAYA TSUSHIN Vol.20
2009.4.1~2009.9.30



UNITED ARROWS LTD.

2010年3月期第2四半期累計(4~9月)連結決算のポイント

売上高 38,196百万円 (前年同期比:104.2%)

㈱ユニテッドアローズでは、小売売上高が伸び悩んだものの、通販およびアウトレット売上高の伸長等により、売上高は前年同期比102.4%の36,234百万円となりました。これに加えて、連結子会社3社の新規出店等による売上高の伸長により、連結売上高は前年同期比104.2%の38,196百万円となりました。

売上総利益 19,541百万円 (前年同期比:104.7%)

春夏商品のセール規模拡大により、ビジネスユニット計(※)における売上総利益率は前期と比較して低下しましたが、スローセラー商品をアウトレットへ早期に移動・消化して換金率を高める商品計画を推進したため、アウトレットにおける売上総利益率は大幅に改善しました。この結果、売上総利益率は前年同期比0.3%改善し51.2%となりました。

経常利益 1,642百万円 (前年同期比:190.3%)

前期と比較して新規出店等に係る設備投資が少なかったこと、人件費、宣伝販促費を中心に販売費及び一般管理費を抑制したこと等により、経常利益は前年同期比190.3%の1,642百万円となりました。

四半期純利益 618百万円 (前年同期比:372.8%)

上記の結果に加え、前期と比較して減損損失が減少したこと等により、四半期純利益は前年同期比372.8%の618百万円となりました。

※「ビジネスユニット計」には小売、通販、卸売等の売が含まれています。

[売上高前年同期比の推移]



To Our Shareholders

株主の皆様には、
ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
2009年10月2日、
当社は1989年の創業から20周年を迎えました。
これまで私たちの活動に賛同し
お力添えをいただいた株主の皆様には、
心より感謝申し上げます。
今後も変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますよう
よろしくご願ひ申し上げます。
2009年12月

代表取締役 社長執行役員

重松 理

Interview with the President

今期は「収益の早期改善」を必達すべく、引き続き施策を推進します。20周年を機に、創業時からの目標「日本の生活文化の中でひとつのスタンダードになること」を再確認し、今後もたゆまぬ進化を遂げてまいります。

Q 社長に復帰してから半年が経ちました。商品や人・組織の改革における手応えはいかがですか。

商品面における成果としては、販売部門と商品部門の連携強化によるMD（商品計画）検証力の向上があげられます。これは、数年前にそれまでの仕入れを主体とするビジネスモデルから仕入製造小売業へ転換するにあたり、お客様が求めているものではなく自分たちのディレクションを重視した「モノ作り」を優先しすぎたという反省によるものです。そこで、販売部門と商品部門の関係を見直し、店頭で得たお客様の声を商品部門へ柔軟にフィードバックし、商品企画へ活かすようにしました。

特に「ユナイテッドアローズ」ブランドでは、販売員の意見を反映した商品の企画や徹底した商品の精査等による成果が出始め、今店頭に並んでいる秋冬物商品については、お客様から好反応をいただくなど確かな手応えを感じています。

また、ムダのない商品投入・消化計画の推進により、販売機会ロスの減少や在庫効率の向上につながるなど、仕組みにおける商品力も着実に向上しています。

一方、人・組織面においては、私自身がリーダーとなり人員体制の適正化・業務効率の向上のためのプロジェクトを推進しました。これは、2007年以降の仕組みなき多事業軸化・多店舗化等による本部／本社部門の肥大化を是正するための取組みであり、「この業務は本当にお客様満足につながっているのか？」という

視点から、各部署の役割・業務内容を精査・分析し、課題の洗い出しを行いました。今後は課題の解決と業務を遂行する上での収支意識と生産性の向上により、継続的に収益改善を目指し続けていける組織・体制を構築してまいります。

私が社長に復帰し、社員が自分たちの事業・収支計画に対してより危機感を持って取組むようになったことが、この上半期における大きな進歩です。お客様へ最大のサービスを提供しさらに売上を伸ばすという意識と、費用対効果や利益に対する収支意識の両立。社員とのふとした会話の中で、彼らの意識の高まりを実感しています。

期初に掲げた、収益の早期改善を目指すための4つの重点取組課題（下図参照）は、計画通り進捗しています。売上総利益率向上や販売管理費削減といった具体的な成果が出てくるのはこれからですが、それぞれの施策が有機的にかみ合えば、おのずと結果に表れると考えています。



Interview with the President

私たちの20年間の歴史は、「日本の生活文化の中でひとつのスタンダードになること」を目的として歩んできた軌跡そのものです。それはすぐに実現できるようなものではなく、今後も究極的な目標としてまい進し続けていくべきと再確認しています。

商環境は急激な変化を遂げており、これから先の5年、10年間にかけて、私たちは今までのファッションビジネスが経験したことのない成長の仕方をしていかねばなりません。今後私たちがどう進化を遂げ、どういった新たな価値提供を続けていくのか、是非ご期待いただきたいと思えます。



株主の皆様には、引き続き変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

（※1）ユナイテッドアローズ オンラインストア
<http://store.united-arrows.co.jp/>
（※2）主な事例だけでもこれまでに、富士通（株）の携帯電話やノートパソコンの企画デザイン、サントリー（株）、（株）ダスキン（ミスタードーナツ事業）のキャンペーン用ノベルティの制作、パナソニック（株）製マッサージソファの専用カバーの制作といった異業種企業とのコラボレーションによる商品開発を行い、いずれも大きな反響をいただきました。

Q 下半期の見通しをどうとらえ、どう取組んでいくのでしょうか。

消費不況を脱したとは言い切れず、衣料品にそんなにお金をかけられないという状況は続くでしょう。そのような環境においても、私たちは軸をぶらさず私たちの価値をお客様へ提供することで良好なリレーションを継続していきたいと考えています。店頭を基点としてお客様へ洋服を通して生活をどのように楽しむかという提案をすること、当社ならではのファッション性の高い情報をいち早くお伝えすること。これが高感度ファッション専門店のあるべき姿です。この価格を超える価値をお客様へ提供することを、今後も競争力の源泉としてまいります。

次の売上の柱も育てていかねばなりません。近年急成長を遂げている通販マーケットに向けて当社も積極的な展開を行っており、9月に自社通販サイト（※1）をオープンしました。ここでは当社独自のきめ細かいサービスを提供していく予定です。

話題性のあるものとしては、異業種企業とのコラボレーションによる商品開発（※2）があげられます。過去の取組みはいずれも大変なご好評をいただいております。現在もいろいろな企業様からたくさんのご依頼をいただいている状況です。今後もひとつひとつの企画を吟味し、お互いの理念や目的に共鳴できるパートナー企業様とともに、新しい価値を創造するような取組みを行ってまいります。

Q 創業から20周年を迎え、これまでご支援いただいた株主の皆様へメッセージをお願いします。

1999年の日本証券業協会（現ジャスダック）への株式会社店頭登録から10年が経ちました。これまで私どもを信頼し投資を続けてこられた株主の皆様へ、心よりお礼申し上げます。

特集「創業



を迎えて」

株式会社ユニテッドアローズは、2009年10月2日に創業から20周年を迎えました。

ユニテッドアローズは、これまで衣料品や生活雑貨を中心にお客様のライフスタイルの提案をしてまいりました。その20年間の歴史の中で、最も多くのお客様に愛され親しまれてきた商品が、「ユニテッドアローズ スタイルフォーリビング モンキー」です。

モンキーが誕生したのは、2004年の申(さる)年のこと。

千支にちなんで生まれた1アイテムが私たちの予想を大きく上回る反響をいただきました。

それ以来、夏休みやクリスマスなどのシーズン、ピンクリボン、アースデイなどのイベントにあわせて、これまで約30種類のモンキーが発売され、お客様にたくさんの笑顔と幸せをふりまいてきました。

今回の特集では、モンキーシリーズのラインナップを振り返ります。
今後もモンキーの活躍にどうぞご期待ください。

by モンキー



20周年モンキー



サッカーワールドカップモンキー



ピンクリボンモンキー



クリスマスモンキー



ウェディングモンキー



森をイメージしたグリーンモンキー

20年間のご愛顧ありがとうございます。

これからもユニテッドアローズをよろしくお願ひします。



Business News

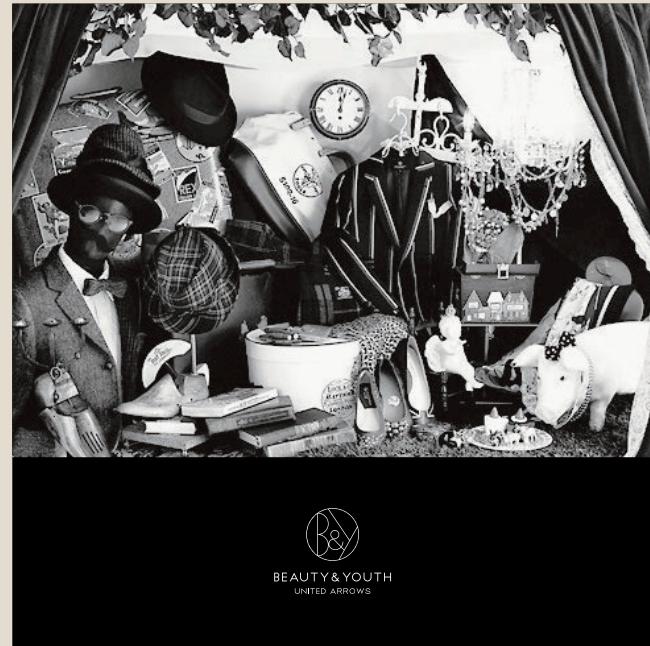
■ ユナイテッドアローズ [UA] 業態 (「ユナイテッドアローズ」「ビューティ&ユース ユナイテッドアローズ」)

UA業態では、MD(商品計画)構成を抜本的に見直し、オリジナル企画商品の拡充や戦略商材の開発に注力しました。

ドレス商材を軸とする「ユナイテッドアローズ」では、メンズで20代から30代に向けた「ホワイトレーベル」のスリムスーツ(47,000円)の展開を始めたほか、ウィメンズでトレンド感とグレード感を併せ持った新レーベル「ゴールドレーベル」を立ち上げ、好評をいただいております。

カジュアル商材を軸とする「ビューティ&ユース」では、メンズで40代前後のお客様に向けて1930~50年代のアメリカンクラシックをベースとした新レーベル「ランド オブ フリーダム」をスタートさせました。

上半期は、メンズでは七分丈のカットソーやショートパンツ、ウィメンズでは仕入ブランドの商材が好調に推移しました。



「ユナイテッドアローズ」「ビューティ&ユース」とも、2009年シーズンビジュアルより引用

■ ユナイテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング [GLR] 業態

GLR業態では、お買い求めやすい価格帯の商材を戦略的に拡充すると同時に、新聞媒体を利用してより多くのお客様に向けての販促活動を展開しました。

その結果、メンズでは、オン・オフ兼用のジャケット、七分丈のパンツやビジネスバッグ、ウィメンズではカットソー素材のジャケットやワンピースが好調に推移しました。



UNITED ARROWS
green label relaxing

グリーンレーベル リラクシング アミュプラザ小倉店

■ クロムハーツ [CH] 業態

CH業態では、商品・販売・宣伝部門の連携をさらに強化したことで、厳しい販売環境の中でも売上が好調に推移しました。主力のシルバーやジュエリー商材のほか、ウォレットや鞆などの革製品が売上に貢献しました。

また、新しい素材開発の一環として、4月からクロコ素材のウォレット、9月からはカシミア素材のジャケットやコートを展開を始めました。また、A BATHING APE® (ア ベイシング エイプ) とのコラボTシャツもお客様から大変ご好評を得ました。



2009年シーズンビジュアルより引用

Business News

■ S.B.U. およびUAラボ

S.B.U. およびUAラボでは、英国の人気インテリア・雑貨ブランド「キャス・キッドソン」が9月に東京・丸の内地区へ新規出店し、英国の最新の店づくりを導入したことやムック本などによる宣伝効果により、計画を上回る売上で推移しました。

ウィメンズの靴を取り扱う「オデット エ オディール」では、8月に不要となった靴の下取りキャンペーンを実施し、7割以上のお客様に割引チケットを利用して新しい靴をご購入いただくことができました。

なお、販売戦略の変更に伴い「サウンズ グッド」では実店舗での販売を中止し、また「時しらず」では実店舗での販売を縮小し、それぞれのインターネット販売を強化しました。

新店情報(2009年4月～9月)

アナザーエディション 立川店
ジュエルチェンジズ 渋谷店
キャス・キッドソン 丸の内店



キャス・キッドソン 丸の内店



キャス・キッドソン ムック本



キャス・キッドソン 広告ビジュアル

Business News

■ 連結子会社の概況

(株)フィーゴでは、イタリア製革小物ブランド「フェリージ」の直営店での接客力向上に努めたほか、売れ筋商品や定番商品の欠品対策を強化しました。

(株)ペレニアル ユナイテッドアローズでは、雑誌媒体でのブランドの認知度の向上に注力しながら、展開するブランド「フランクウィーンセンス」2店舗の新規出店を行いました。

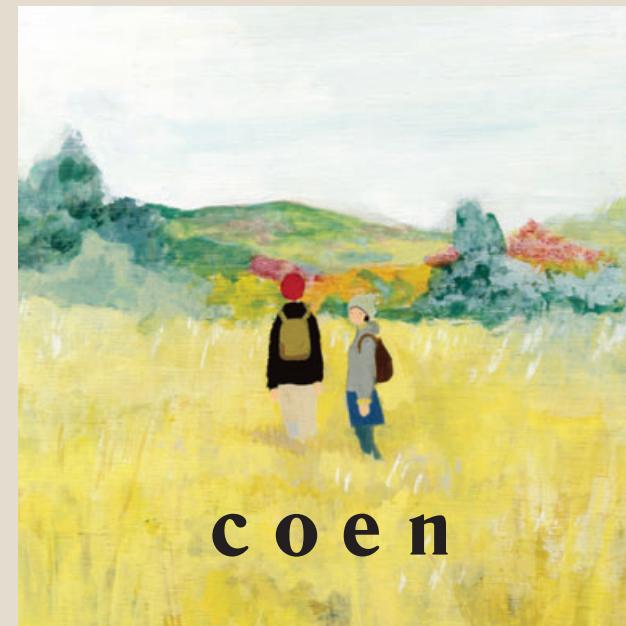
(株)コーエンでは、展開するブランド「コーエン」の出店を順調に進めた結果、2009年7月末日現在の店舗数は25となりました。また、ブランドコンセプトやターゲット層、価格帯などのMD構成を見直し、この秋冬からは価格を抑えた商材を拡充しております。

新店情報(2009年2月～7月)

「フランクウィーンセンス」
表参道ヒルズ店、大丸神戸店
三越銀座店、JR名古屋タカシマヤ店(9月)
「コーエン」

ゆめタウン高松店、仙台名取店、名古屋mozoワンダーシティ店、広島祇園店、秋田店、福岡天神店、土浦店、新潟南店、ららぽーと磐田店

※フィーゴを除く子会社2社は、1月期決算であるため連結対象期間は2～7月となります。



「フランクウィーンセンス」「コーエン」とも、2009年秋冬シーズンビジュアルより引用

連結財務諸表

連結貸借対照表（要約）

	2009年3月期第2四半期末 (2008年9月30日現在)	2010年3月期第2四半期末 (2009年9月30日現在)	2009年3月期末 (2009年3月31日現在)
(単位：百万円)			
(資産の部)			
流動資産	28,614	30,541	29,460
固定資産	17,423	17,251	17,360
有形固定資産	8,081	7,754	7,789
無形固定資産	2,775	2,436	2,590
投資その他の資産	6,566	7,059	6,980
資産合計	46,037	47,793	46,821
(負債の部)			
流動負債	23,687	21,729	19,854
固定負債	93	3,149	3,962
負債合計	23,781	24,878	23,816
(純資産の部)			
資本金	3,030	3,030	3,030
資本剰余金	4,095	4,095	4,095
利益剰余金	16,084	16,756	16,771
自己株式	△909	△909	△909
株主資本合計	22,300	22,971	22,987
評価・換算差額等合計	△44	△57	17
純資産合計	22,256	22,914	23,004
負債・純資産合計	46,037	47,793	46,821

連結貸借対照表のポイント

総資産は前連結会計年度末比2.1%増の47,793百万円
現金及び預金480百万円、商品619百万円が増加し、受取手形及び売掛金81百万円が減少したこと等により、流動資産は、前連結会計年度末比3.7%増の30,541百万円となりました。また、建物及び構築物48百万円、差入保証金96百万円が増加し、有形固定資産その他83百万円、無形固定資産154百万円が減少したこと等により、固定資産は、前連結会計年度末比0.6%減の17,251百万円となりました。

負債は前連結会計年度末比4.5%増の24,878百万円
支払手形及び買掛金827百万円、短期借入金600百万円、未払法人税等526百万円が増加し、1年内返済予定の長期借入金349百万円が減少したこと等により、流動負債は、前連結会計年度末比9.4%増の21,729百万円となりました。また、固定負債は、長期借入金816百万円の減少等により、前連結会計年度末比20.5%減の3,149百万円となりました。

純資産は前連結会計年度末比0.4%減の22,914百万円
利益剰余金14百万円、繰延ヘッジ損益75百万円の減少等により、純資産合計は、前連結会計年度末比0.4%減の22,914百万円となりました。

連結損益計算書（要約）

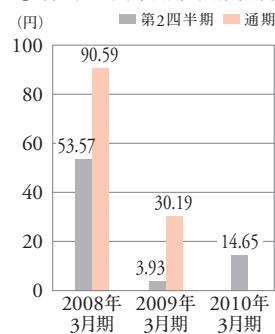
	2009年3月期第2四半期累計 (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)	2010年3月期第2四半期累計 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	2009年3月期 (2008年4月1日から 2009年3月31日まで)
売上高	36,669	38,196	79,665
売上原価	17,996	18,654	39,018
売上総利益	18,672	19,541	40,647
販売費及び一般管理費	17,818	17,946	36,327
営業利益	854	1,594	4,319
営業外収益	67	134	152
営業外費用	58	86	189
経常利益	863	1,642	4,283
特別利益	0	0	-
特別損失	220	92	1,224
税金等調整前四半期(当期)純利益	643	1,549	3,058
法人税、住民税及び事業税	379	819	2,018
法人税等調整額	98	112	△234
四半期(当期)純利益	165	618	1,274

※連結損益計算書のポイントは、1ページの「2010年3月期第2四半期累計連結決算のポイント」をご参照ください。

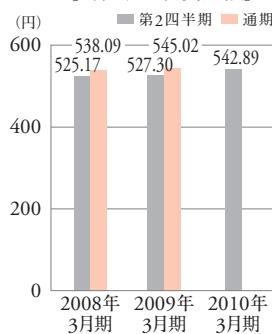
連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

	2009年3月期第2四半期累計 (2008年4月1日から 2008年9月30日まで)	2010年3月期第2四半期累計 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	2009年3月期 (2008年4月1日から 2009年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△503	2,397	1,286
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,449	△728	△4,373
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,532	△1,194	3,434
現金及び現金同等物の四半期(当期)末残高	2,554	3,796	3,322

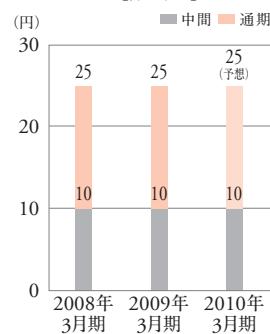
[1株当たり四半期(当期)純利益]



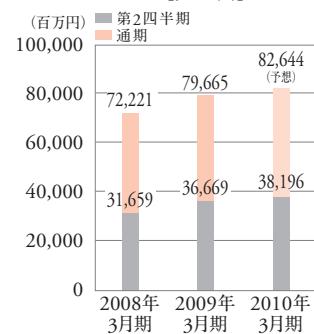
[1株当たり純資産額]



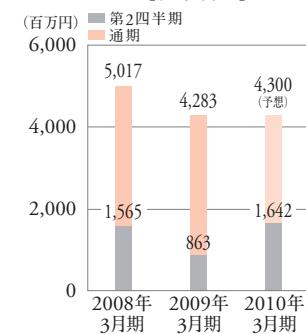
[配当金]



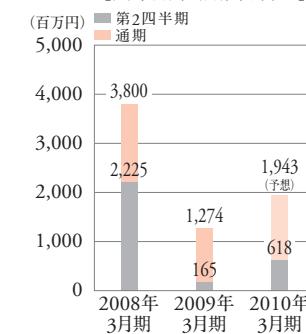
[売上高]



[経常利益]



[四半期(当期)純利益]



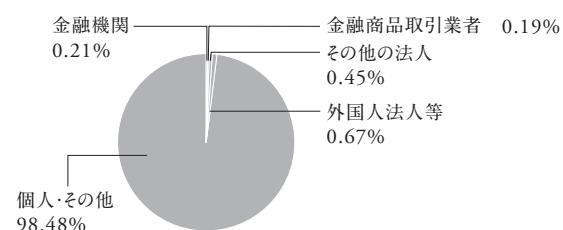
株式会社データ (2009年9月30日現在)

株主総数	14,857名
発行可能株式総数	190,800,000株
※発行済株式の総数	42,800,000株

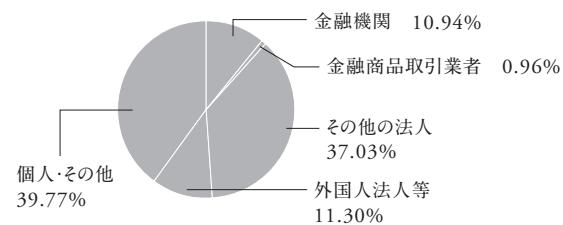
大株主

株主名	持株数	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合 (%)
株式会社エービーシー・マート	10,400,200	24.29
重松理	4,111,600	9.60
栗野宏文	2,251,100	5.25
株式会社エー・ディー・エス	2,165,700	5.06
岩城哲哉	2,128,000	4.97
三菱商事株式会社	1,627,700	3.80
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	1,075,600	2.51
ジュニパー (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ銀行)	1,020,400	2.38
水野谷 弘一	1,000,000	2.33
株式会社ルコタージュ	1,000,000	2.33

●所有者別分布状況



●所有株式数別分布状況



※発行済株式の総数のうち、591,970株を自己株式として保有しております。

会社概要 (2009年9月30日現在)

商号	株式会社 ユナイテッドアローズ UNITED ARROWS LTD.
本社所在地	東京都渋谷区神宮前二丁目31番12号
資本金	30億30百万円
従業員数	※2,680名 (アルバイト 101名)
事業内容	紳士服・婦人服および雑貨等の企画・販売
主要取引銀行	1. 三菱東京UFJ銀行 2. 三井住友銀行 3. みずほ銀行

※従業員数は就業人員であり、アルバイト数は外数で記載しております。

役員一覧 (2009年9月30日現在)

代表取締役社長執行役員	重松理	上席執行役員	藤澤光徳
代表取締役副社長執行役員	岩城哲哉	上席執行役員	竹田光広
取締役常務執行役員	人見輝	上席執行役員	佐川八洋彦
取締役常務執行役員	加藤英毅	執行役員	齋藤秀彦
取締役常務執行役員	小泉正己	常勤監査役	酒井由香里
上席執行役員	東浩之	監査役	山川善之
上席執行役員	大田直輝	監査役	橋岡宏成

展開ブランド一覧 (2009年9月30日現在151店舗)

ユニテッドアローズ	14店舗
ユニテッドアローズ (新)	12店舗
ビューティ&ユース ユナイテッドアローズ	17店舗
ザソプリハウス	1店舗
ディストリクト ユナイテッドアローズ	1店舗
リカー、ウーマン&ティアーズ	1店舗
ユニテッドアローズ グリーンレーベル リラクシング	37店舗
クロムハーツ	5店舗
アナザーエディション	14店舗
ジュエルチェンジズ	7店舗
オデット エオディール ユナイテッドアローズ	17店舗
ドゥローワ	5店舗
キャス・キッドソン	4店舗
時らざ	1店舗

ユニテッドアローズ アウトレット 15店舗

連結子会社

- (株) フィーゴ
- (株) ベレニアル ユナイテッドアローズ
- (株) コーエン

株主の皆様へアンケートご協力をお願い

株主の皆様へアンケートを実施させていただきたく存じます。お手数ではございますが、下記URLからアクセスし、アンケートへのご回答をお願いいたします。なお、アンケートにご回答いただいた方の個人情報とご回答の内容に関しては、今後のIR活動に活かす目的以外には使用いたしません。



[アンケート実施期間 2010年1月31日まで]

・パソコンからアクセスされる場合
<http://www.united-arrows.co.jp/ir/stockinfo/survey.htm>



・携帯電話からアクセスされる場合
QRコード読み取り機能のついた携帯電話をご使用の方は、こちらのQRコードからもアクセスできます。

ご回答いただいた方の中から抽選で50名様に、「株式会社ユニテッドアローズ 創業20周年記念 スタイルフォーリビング モンキー」(非売品)を贈呈いたします。なお、賞品発送の時期は2010年2月中旬とし、抽選の結果は当選者の方への発送をもって代えさせていただきます。



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金	3月31日
受領株主確定日	9月30日
(中間配当を行う場合)	6月
定時株主総会	6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	

同連絡先 〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711 (通話料無料)

公告方法 電子公告

※やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

IR情報に関するお問い合わせ先

計画管理室 IRチーム
Phone 03-5785-6637

IR情報サイト
<http://www.united-arrows.co.jp/ir/index.html>

<株式事務のお手続きに関するご案内>

株式事務のお手続き(住所、氏名等の変更、単元未満株式の買取・買増請求)については、各株主様が口座を開設されている証券会社等にて、また、配当金や当社からお送りする各種株式事務書類未受領等に関するお問い合わせは、三菱UFJ信託銀行本支店にて承ります。